

議会だより

NO.17

 吉野川市



目次

代表・一般質問……………P 2
議案の審議から……………P 9
市民のページ……………P14・15

クイズ……………P15
市民の皆さんへの募集……P16

「梅の木」(美郷)

■発行／吉野川市議会
■住所／〒776-8611
■TEL.(0883) 22-2241

■編集／議会広報特別委員会
徳島県吉野川市鴨島町鴨島115番地1
■FAX.(0883) 22-2242

2009.2.25

代表・一般

ここが聞きたい

質問

12月議会定例会では10名の議員が代表・一般質問を行いました。

●の質問を中心に取り上げました。

代表質問

一般質問

① 後藤田 哲 夫 議員

●子育て支援対策と安全な医療体系について

○環境問題について

○住宅使用料について

② 山下 智 議員

○都市計画道路整備について

●都市計画区域・都市計画整備区域線引きの見直しについて

③ 栗原 五 男 議員

○市長所信の「豊かな地域の活性化」について

○2期目の決意について

○地域振興基金について

●地場産業の育成について

○グリーンツアーについて

④ 高木 純 議員

○市長の公約について

○吉野川ブランドの創設について

○UJITAインについて

○市外への発信の方策について

○市政を支える人材の育成について

○環境に優しいゴミ減量化について

●教育行政の独立性について

⑤ 福岡 正 議員

●麻植協同病院の産科撤退について

○農業委員の選挙人登録について

⑥ 榎納 謙 司 議員

○教育について

●産業の活性化について

⑦ 中山 郁 子 議員

●市長マニフェストについて

○行財政改革について

⑧ 岸田 秀 樹 議員

●安全安心のまちづくりについて

○耕作放棄地の再生について

⑨ 岡田 光 男 議員

○定住促進のための政策について

○雇用促進住宅について

●食の安全と地産地消の取り組みについて

○障害者自立支援法「3年後」の見直しについて

⑩ 増富 義明 議員

●バンブーパークの解放について

○教育振興計画の進捗状況について

○入札の一元化について

○こうつの里の閉鎖に伴う今後の進め方について

代表質問



後藤田 哲 夫 議員
(麻植会)

総合周産期母子医療の充実は

(質問)

県医療審議会に意見書提出

(答弁)

質問 徳島大学病院からの派遣撤退により、21

年4月から麻植協同病院での出産ができなくなる

と、市民は大変不安に思っている。

市として、実態を把握し交渉したのか、今後総合周産期医療はどうなるのか。

健康福祉部長 地域医療にとつて、必要不可欠な麻植協同病院の産婦人科の診療の維持、継続について、徳島県医療審議会に意見書を提出するとともに麻植協同病院にも足を運び、産科の存続をお願いしたい。また、徳島県産科セミオーブンステムに関する契約では、34週以降は徳島大学病院、半田病院で分娩まで健診を行い、カルテを作

出産の救急搬送も多

く、自家用車で行く人も相当あると聞く。徳島大学病院と半田病院が受け入れると聞くと、病院が遠くなり、不安が増加する。医療体系の充実について、安心して出産ができる医療の充実をどう考えているのか伺う。



山下 智 議員
(清友会)

都市計画区域線引きの見直しは

(質問)

庁内協議し、県に相談

(答弁)

質問 無秩序な市街化を防止し、効率的な都市環境を図るための線引きの見直し、また、維持や廃止について協議しているのか。

れ、地権者等の利害関係もあり、慎重に検討したい。市としては、平成24年度予定の見直しの中で、徳島東部都市計画の一員として市の意見を反映させたい。

建設部長 鴨島地区を含む5市3町の徳島東部都市計画区域は、線引きのある広域都市計画区域として、県が昭和46年に指定している。近年規制緩和の都市計画区域および見直しについては、都市計画法に規定され、所定の手続きを経て見直しは可能である。現在、庁内協議し、県にも相談をかけている。見直しは、拡大、縮小、全廃が考えら

再問 市民からの意見を聞くためにも、パブリックコメント等を活用するなど、何か考えはあるか。

建設部長 次回見直しに向けて、県や関係市町と連携をとりながら、公聴会、パブリックコメント、広報紙等により、直接市民の意見を聞き集約したい。その中で、市の特性、

社会情勢等を十分勘集して方策を検討していきたい。

「その他の質問」

質問 地域住民や多くの市民が未改良路線の早期着手を願っている。その後の取り組みや進捗状況、今後の計画は。

答弁 県事業として早期に着手してもらえよう、県に強く要望していく。

徳島東部都市計画総括図（鴨島町）





栗原五男議員
(薫風会)

地場産業の育成について

(質問)

関係機関と連携し取り組みたい

(答弁)

質問 経済産業省では地域を担う中小企業を応援し、「地域を元気にする」といっているが地場産業の育成には担当者が必要である。県内企業の製品や技術を紹介する徳島県物づくり新技術展示商談会があり、今年も県内54企業・団体が展示ブースを開設して、多くの製品や技術を提案している。この商談会に今年も本市から5社、昨年も4社参加している。参加した企業から行政の協力が一つもないという声が聞かれている。他市町村は農産物などと一緒にいろんなパンフレットを配り実績をあげている。今後地場産業の育成がいわれている中でどんな対応をしていくのか伺いたい。

答

産業振興に限ら

質問 個性豊かな地域の活性化は。

【その他の質問】



他市へ移転した企業

ず子育て支援・基盤整備の促進・教育環境の整備などを通じて地域の活性化に努めたい。

質問 地域振興基金の現在の状況と今後の予定は。

答 平成19・20年度にそれぞれ5億円を積立大阪府債を購入し1・6%余りで運用している。

質問 グリーンツアー

を推進してはどうか。

答 地域の住民や団体、旅行会社と連携して取り組みたい。

質問 市長2期目の決意は。

答 さらに徹底した行政改革、スピードのある行革に取り組みゆるぎない財政基盤を確立したい。

一般質問



福岡正議員

産科撤退についての協議は

(質問)

継続についてお願いしている

(答弁)

質問 産婦人科医が減少している中で、このたび麻植協同病院の産科が廃止、撤退と報じられているが、本市としては子育て支援、少子化対策の観点から麻植協同病院と、この件について協議したのか。本市には現在産婦人科医は協同病院と開業医の2婦人科であるが、社会的には減少している。市民が安心して子どもが産める環境整備に行政ができる範囲の最大の協力をして、引きとめる努力をしたのか伺いたい。

福祉事務所長 麻植協同病院の産科医療は徳島大

学病院からの医師派遣によって行われているが第5次徳島県保健医療計画のもと、平成21年4月から産科の医師派遣には十分な支援が得られない事態となっている。本市としては徳島県医療審議会に対し産科の継続についての意見書を提出するとともに協同病院にも産科の継続をお願いした。麻植協同病院も徳島大学病院と再三協議をしたが派遣が得られなかった状況である。麻植協同病院としては分娩に至るまでの不安を軽減できるような徳島大学病院及び半田病院と徳島県産科セミオーブンステムに関する契



高木 純 議員
(日本共産党)

教育委員会の独立性は

(質問)

独立性を尊重したい

(答弁)

質問 戦後の民主化の重要な柱の一つとして、教育は地方公共団体の固有事務と位置づけられた。これに伴って教育行政は一般の地方行政から独立した。その核となるのが地方教育行政の組織及び運営に関する法律である。この法律の23条で教育委員会と一般行政の長の職務権限が明確に分けられている。

大阪府の橋下知事が全国学力テストの結果を公表すべきと教育委員会に迫りニュースになっている。

行政の長が学力テストの結果公表を迫る態度は、法律で定められた教育委員会の独立性を脅かすものであると思うが、市の考えは。

市長 現行の法制下では教育委員会の独立性を尊重しなければならぬので、教育行政には介入しない。ただし、課題によっては教育委員会だけでは解決できない問題もあるため、そのような場合は充分協議していきたい。

教育長 教育委員会は完全に独立しなければならぬと考えており、断るべきことは断り、連帯すべきところは連帯する。

再問 学力テストについて文部省は過度の競争を招くとして結果は公表しないよう都道府県委員会に通知している。市長が公表すべきと発言したら、教育委員会はどう

対応するか。

教育長 委員会として、公表すべきでないかと判断した場合には市長から指示があっても委員会の立

場を踏襲したい。

市長 学力テストの公表については教育委員会が検討すべきことと思っている。



市内小学校の授業風景



産科撤退がいわれている麻植協同病院

約書を交わし平成21年3月以降に分娩予定の方々に対応することとしている。

「その他の質問」

質問 農業委員の選挙人登録が減少しているが努力や工夫をしているのか。

答弁 選挙人名簿の登録啓発活動を積極的に推進する。



榎納謙司議員

行政の企業・農業への役割は

(質問)

真剣に積極的に取り組む

(答弁)

質問 不況が厳しい状況下の企業と、国に切り捨てられている農業に対して行政の対応と特産物への思いを伺う。

産業経済部長 商工会議所や商工会と連携して中小企業の資金繰り支援認定処理、各種相談業務など関係機関と協力して取り組んでいきたい。

農業については、担い手育成総合支援協議会を県・市・農業委員会・JAメンバーで組織を設立し、市内認定農業者などの経営確立支援に取り組んでいる。

特産品については、贈答品として使えるよう、化粧箱入りの詰め合わせセットの開発等を指導している。



中山郁子議員

妊婦健診14回の公費負担は

(質問)

国の動向を見て検討

(答弁)

質問 市長のマニフェストの中の「健康で暮らせるまちづくり」から伺う。

①「吉野川っ子の育成をサポート」
②「幼・保連携モデル機能の実現」
③「児童クラブの設置など放課後児童対策の充実」
の3点を具体的に伺う。

④保育料の無料化、妊婦健診の公費負担の拡大については、保育所に3人以上入所の場合、第3子以降だけ無料にするところがあるが、幼稚園にまたがって第3子以降無料にならないか。妊婦健診の公費負担については、国が14回まで拡大をする取り組みが進められているので、市が先取りして14



岸田秀樹議員

安全・安心なまちづくりは

(質問)

最重要課題として取り組む

(答弁)

質問 今、安全・安心という言葉は吉野川市に置ける全ての諸問題を網羅した言葉と思うが、その中で防災局の位置づけ及び運用方向は。また自主防災組織を今後どのように発展をさせていくのか、市長の考えは。

市長 自然災害への対応と指揮命令系統の明確化の為に平成17年8月に

防災局を設置して、本市の安心・安全のまちづくりに取り組み、地域防災計画の見直し、ハザードマップ・防災マップの作成、総合防災訓練の実施、自主防災組織の設立など災害に備えた施策の推進の為に、その機能を十分に発揮してきたと考えており、引き続き防災局には

防災に関して中心的な役割として市全体の防災対策に取り組んでもらいたい。自主防災組織の組織率が100%に達したことから、今後はいざというときに動ける自主防災組織の育成に努めると同時に、活動を支援し、市民の防災意識をさらに高めることに努めていきたい。

再問 自主防災組織の育成と活動を支援していくには、十分な対応が現在できないと思うが、人員を増加する気持ちはあるのか。また、学校教育の中で安全・安心というのをどの様に反映するのか伺いたい。

防災局長 自主防災組織





吉野川市の特産品

【その他の質問】

質問 全国一斉学力テストは能力向上に役立っているのか。

答 弁 児童・生徒への教育指導や学習状況の改善に役立てられるよう有効に活用し、効果ある取組を推進していきたい。

回の実施ができないか伺う。

市長 ①については、平成21年4月から川島庁舎3階に子育て支援センターを設置し、子育て親子の交流、関連情報の提供、相談や援助、講習を実施。また、子育て支援重点家庭への訪問、職員が出向いて行う地域支援活動などを予定している。④の保育所・幼稚園にまたがって、第3子以降保育料の無料化については、市の重要課題の一つと認識している。他の施策のバランスなど財政的な面も含めて検討。妊婦健診の拡大は国の動向を見ながら実施に向けて検討したい。

健康福祉部長 ②に関しては、少子化による子ども数の減少は著しく幼稚園や保育所施設の老朽化が進んでいる状況にある。一方、将来市庁舎が一本化されることを想定し、空き庁舎の利活用についての検討も必要。保育所運営検討委員会で統廃合も協議中。その答申

も踏まえて空き庁舎で有効利用しながら最も望ましい幼・保連携機能の実現を目指し取り組んでいる。

再 問 ④の妊婦拡大について、国が1/2、市が1/2の公費負担に決まる前に県にしっかりと働きかけ、県にも1/4負担願いたい市が1/4なら実施できないか再度伺う。

市長 14回まで認めたと思うが、もう少し国の動向を見ながら検討したい。

【その他の質問】

質問 市民参画による仕分け事業の実施は。

答 弁 現在実施の事務評価の手法を改善し、市民に開かれた事業評価のあり方を検討。

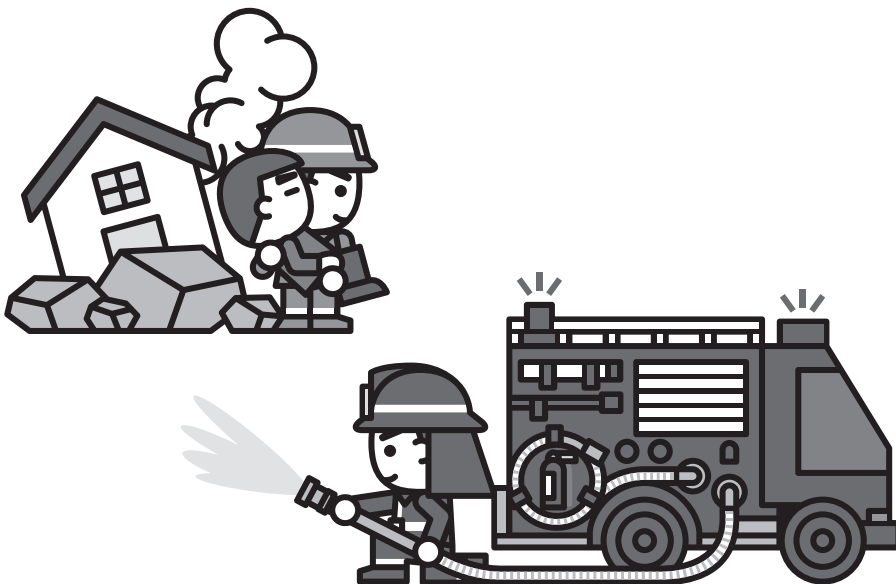
質問 耕作放棄地の土地有効利用の考えは。

答 弁 平成23年度をめぐりに年次計画的に耕作放棄地の解消を目指す。

の役員会や多くの人に参加してもらったの訓練をもっと充実させる為にも現在の人員では不足している、人事担当局に申し入れをしたい。

教育長 学校の教育活動

の中に安全・安心に関する学習活動を取り入れ、子どもたちがそういう問題について学習を深め、常に意識を持つような子どもたちにしていく為に現場の学校に対して今後指導を図っていきたい。





岡田光男 議員

学校給食に地元食材を

(質問)

できる限り使用したい

(答弁)

質問 昨年6月に農業やカビで汚染された「事故米」が学校給食にも使われていた事がわかり、学校においても地産地消を求める声が大きくなりました。昔から「三里四方しゆんの味」といってしゆんの味は自然のリズムに順応した体をつくり出している。

改正された学校給食法では食に関する指導と食育の推進へと転換し、地域の産物を学校給食に活用する事が明記されたようであるが、地元食材の利用割合と品目はどのようになっているのか伺う。

教育次長 生産者の顔が見える地場産物を使用する事は大変重要であり、

可能な限り市内で生産された食材を使用していきたい。現状では、米、白菜、キャベツ、大根、ニンジンなど10種類の野菜と梅干し、焼き肉のたれ、スタチ酢などの地元産物を使用している。

平成19年度実績では地元産の賄い材料費は2000万円余りである。購入割合は7%である。購入先は3軒の個人農家と麻植郡農協、川島の生活改善グループなど5団体から購入している。

再問 地産地消を今以上進めるには、消費者と生産者との橋渡し役が重要となるが、行政としてどのようにかわるのか。



増富義明 議員

バンブーパークを中学校のクラブ活動に解放しては

(質問)

総合的に判断し、利用できるように検討する

(答弁)

質問 山川中学校は校舎を新築しているためグラウンドが非常に手狭になり、野球部・ソフトボール部・サッカー部が使用し危険である。近くのバンブーパークを、校舎が完成するまでの間、特例として子どもたちに解放してはどうか。

当局に打診すると「公園条例にそぐわない」「芝生が傷む」という理由になり解放できないと言った。条例を守るのには当然であるが、今大切な事は柔軟な対応をするのが本当の市民サービスになるのではないか。この町を担う子どもたちにも少しでもいい環境を与えてあげるのが今の時代の本当の教育につながるのではないか。

市長 条例の規定は逸脱できないが、今回は山川中学校改築中であり、使用が一時期なので慎重に対処したい。

再問 今現在、奥川田のサッカー場は優先的に中学生が利用しているが、授業が終わり急いでサッカー場に行ってもすぐ真つ暗になり、帰り際事故にでも遭わないか心配である。冬期の期間中だけでもバンブーパークの解放ができないか。

市長 総合的に判断し、利用できる方向で当局に検討させたいと考えている。ただし、公園として広く市民の皆様方にも交流、憩いの場であり、公園の管理上一定の条件



多くの市民が憩うバンブーパーク

のもとでの利用になると考える。

「その他の質問」

質問 教育振興計画の進捗状況は。

答弁 現在、細部の調整を行っている。

質問 給食センターの調整計画は。

答弁 将来の人口推移も見極めた上で計画を立てたい。

質問 工事と物品の入札を一元化してはどうか。

答弁 今後、本市にふさわしい体制を構築研究したい。

教育次長

給食納入業者には市内外合わせて21業者あり、市内産もしくは県内産の農産物を購入するよう指導している。



給食を楽しむ子どもたち

プロジェクトチームの体制は。

答 弁 先進事例も考慮し早期に検討したい。

産業経済部長

市内農産物に対して安全・安心・新鮮の認定取得や食文化の継承などの食育推進計画を関係部局と協議し策定したいと考えている。

質 問 雇用促進住宅からの退去を求められているが、居住者の要望を聞くなどの対策は。

答 弁 十分検討して対処したい。

市長

環境問題を含め国内受給率を上げるためにも地産地消の推進は必要と考えている。そのためにも生産者と消費者を結ぶ仕組みづくりを検討したい。

質 問 障害者自立支援法3年後の見直しで、応益負担の廃止は。

答 弁 あらゆる機会を通じて利用者の軽減負担の恒久化を働きかけた。

【その他の質問】

質 問 定住促進のため

平成20年12月議会定例会

議案の
職案の
審議から

● 日程 ●

平成20年12月1日～12月19日

12月定例会では、条例関係案4件、決算認定11件、予算案5件、人事案1件、指定管理者の指定8件、その他4件が提案され、原案どおり可決・承認されました。

特別会計の健全な
運営はできているのか
決算特別委員会

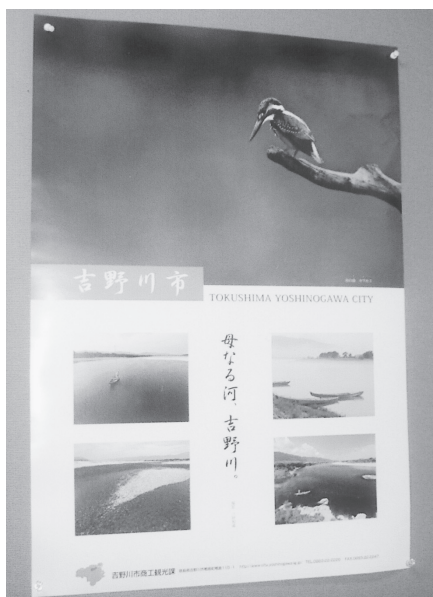
平成19年度一般会計

質 問 不納欠損額が、4300万円あまりあるが、滞納整理のための計画と徴収方法について伺う。また、固定資産税・軽自動車税は、資産であるが差し押さえはしているのか。

答 弁 取り組みとし

て、新規滞納者を作らない。長期滞納者に対して毅然とした態度で対応する。納税環境を費用対効果を考慮し拡充する。職員の資質向上を図り、徴収体制を強化する。この4項目を基本方針として取り組んで行きたい。

固定資産税について



は、多くは法人の倒産によるものであり、差し押さえはしていない。

質 問 カワセミの写真のポスターであるが予算は何処で支出しているのか。また、目的は。

答 弁 観光費の消耗品費で、2000部を印刷し25万2千円である。

吉野川市のイメージが薄いとすることで、知名度アップを目的として作成し、800部を市内外、県外の主な公共施設に発送している。

平成19年度国民健康保険特別会計

質問 国民健康保険料が近い将来上がるような時期に来ているのか。

答弁 18年度繰越金は5億9千万円で、19年度では、4億5千万円であり、単年度で見ると1億4千万円の赤字となっている。つまり現在のところ何とかなるが、いずれ保険税を国の動向を見極めながら検討していかなければならない。

平成19年度公共下水道事業特別会計

質問 収入未済額において、予算現額からすると分担金負担金が約18%、使用料が約10%になっている。これは、分担金負担金は5人に1人、使用料は、10人に1人が未納となっているのか。

答弁 下水道事業、農業集落排水事業全般になるが、管工事が終了し、加入促進を図ったが、過年度分を含めて加入促進が図れなかったためである。

平成19年度地域支援事業特別会計

質問 分担金負担金で当初予算が520万円、補正額が406万円の減額となっているが、どのようなことか。

答弁 予算計上は、国の推計で特定高齢者等は5%人数は、1100人程度であったが、実質対象人数は120人ほどであり、実際に制度を利用した人が48人であったためである。

平成19年度公衆温泉浴場事業特別会計

質問 繰越金が、2800万円あり、経営的にも順調であると思われる。幼児の入浴料を下げるとか、喜寿、米寿等を迎える方に入場券をさし上げることなどができないか。

答弁 鴨の湯では毎年黒字で繰り越してきているが、近年は厳しくなり単年度赤字が続いている。また、20年度からは、一般会計の温泉費で運営を開始している。

平成19年度介護保険特別会計

質問 収入未済額が、調定額に比べ少ないがこの違いは何か。

答弁 介護保険料は、特別徴収と普通徴収があり、特別徴収は、ほぼ100%の徴収率で、収入未済額は普通徴収分である。



鴨の湯

◇以上異議なしで可と決定

出産一時金は いくらになるのか

総務常任委員会

平成20年度一般会計補正予算

質問 最終処分場管理費の燃料費95万円について。これは、ガソリンの高騰によるものか。また、それならば高いときか。低くなつてからの見積もりか。

答弁 ガソリン高騰による補正予算は高い時の見積もりで計上している。

質問 環境センターの合併浄化槽設置工事費について。この浄化槽の規模は何人槽か。また、1000万円近くもの予算がついているが、その内訳は。

答弁 50人槽である。内訳については、まだ積算できていないので後日

報告したい。

質問 国民健康保険特別会計繰出金の374万円について。今までは35万円の出産一時金が出ていた。今度プラス3万円ということと、思うが、いつから行うのか。

答弁 平成21年1月から施行で出産した人全てが対象となる。

◇以上異議なしで可と決定



美郷中学校統合について

文教厚生常任委員会

経過説明

「18年度の中枝種野幼小の在り方を検討している時に委員の方から、中学校の統合についても検討会を立ち上げる時期でないかとの意見があり今後の課題としていた。生徒数が18年度は20名、19年度は14名、20年度は6名と減少傾向であるため今後の生徒数によれば教育環境が守れなくなるので、PTA役員、地域審議会委員、自治会連合会会長、教育委員、市議会議員、学識経験者、小学校長で構成する在り方検討委員会を立ち上げ、3回会議を開催している。その中で検討委員会を立ち上げた経緯、美郷中学校の現状、生徒の減少に伴う教育上のメリット、デメリット等々を説明し、教育委員会とし

て美郷中学校の教育環境等条件整備が十分図れないと判断し、早急に山川中学校との統合を進めたいとの考えを示した。検討委員会からは、存続統合の賛否両論があったが、美郷地区においては以前に中村小学校・東山小学校・中枝小学校の統合を経験しており、保護者の希望を最優先すべきであるとの意見が多く、保護者の意向調査をした結果、種野幼小学校のPTAからは統合する意見が、美郷中学校のPTAからは存続の意見が出、意見が分かれたので両会長が協議した結果、現中学校1年生が卒業する22年度までを移行期間とすること、地域の総意として山川中学校へは通学スクールバスの要望がされた。在り方検討委員会としては保護者の意見

を尊重する立場からこの要望を調査案として支持し、事務局は在り方検討委員会の総意として了承した上で、10月の教育委

員会で美郷中学校在り方検討委員会協議結果が提出され、協議の結果この方針が適当であると認められたものである。」



高性能林業機械の導入補助金は妥当か

産業建設常任委員会

市道路占用条例の一部改正

質問 占用料を徴収するようになった場合に年間どれくらいの占用料を見込んでいるのか。また、占用料の滞納があった場合にどのように対処するのか。また、工事に伴う電柱等の移動にも占用料があるのか。

答弁 年間の収入の見込みは、電力柱で90万

円程度、電話柱等で270万円程度、その他で数十万円程度の概算になる。

また、滞納の場合については、条例中に滞納処理についての規定があり、それを適用していきたい。移転補償の場合、協定をまいて一定の率でお互いに補償することになる。

平成20年度一般会計補正予算

質問 林業振興費にある高性能林業機械導入補助金560万円とあるが、どのような機械なのか。また、補助金が妥当に使用されているのかを把握しなければいけないと思うが。

答弁 高性能林業機械の中で購入を予定しているのは、プロセッサ（枝払い・材送り・玉切り等）、フォーワーダ（木材の運搬）、スイングヤード（集材を行う機械）の3点である。また、補助金を出す以上は、適正な指導を

行っていきたい。

質問 災害復旧事業というのは市が申請するのか。また、災害を申請すれば認められるのか。

答弁 一日雨量・時間雨量の基準値を超えると災害申請をできますが、

災害復旧には災害査定というのがあり、国の査定官が現地確認をし、査定が通らなければ災害復旧費で復旧することができない。

◇以上異議なしで可と決定

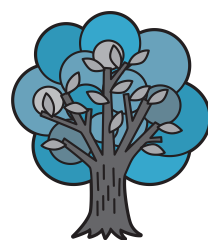


農業集落排水事業について

説明

「神後地区農業集落排水施設については、旧川

島町で平成8年5月に事業採択を受けて事業に着手し、平成14年4月に供用開始した施設でありま



段ボールコンポストで ごみの減量を

環境対策特別委員会

一般廃棄物減量計画について

質問 自治会等へ出向き啓発を進めるとのことであるが、どのようにするのか。来年度から中央広域環境センターにごみを搬入することになるが、条件整備はどうなっているのか。また、マイバック運動は職員が率先することが効果的であると考えるが。

答弁 自治会への啓発は、3月から4月に開催されている総会等に同席し、ごみ減量等の説明を行いたい。搬入路の整備については完了しており、来年度から搬入することになっている。マイバック運動の推進は、市職員に協力を依頼していきたい。

質問 ごみ減量計画について、平成22年度には生ごみ・紙ごみを2695tを減量する計画となっているが、これだけ減量すると負担金はいくら減額できるのか。また、段ボールコンポスト等が何世帯くらいに普及すれば目標を達成できるのか。

答弁 2695tの減量が達成できますと、中央広域環境センターへの負担金は、約1億4千万円程度減額できると考えている。また、段ボールコンポスト等を約7000世帯の方々に実践していただくと目標数値を達成できると考えている。

質問 ごみ減量計画では、目標を達成するために廃棄物減量等推進委員会を選任し、普及活動を展開するとなっている。組織づくりはいっぺんを目的にしているのか。また、啓発活動についても

答弁 本年度末までに、推進委員会を選任し

講習会を実施していきたい。啓発活動については、集積所、公共施設等にポスターを掲示していきたい。また、ごみ減量計画に基づく実施計画書を早急に作成し、啓発活動等を実践していきたい。

◇以上異議なしで可と決定



空き缶分別とプレス作業

す。委員会へご報告させていただきます。理由につきましては、大口の受益者の脱退により使用料金の収入に大きな減額が生じるため今後の下水道推進に支障をきたす事も考えられ、本委員会にご報告させていただきます。

この事業は農林水産省所管の補助事業であり、事業採択にあたっては受益者の同意が必要とされ、健祥会からも平成8年2月20日付で加入申込書が提出され同意は得ています。

平成11年3月に水明荘・健祥会ウエル・健祥会ウエルアネックスの3施設から事業実施の申し込みを受け、同年6月に各施設毎に分担金15万円が賦課され納付されています。なお、公共枡への接続についてはウエル及びウエルアネックスについては平成13年11月に、水明荘については平成14年10月に接続され、3施設は全て接続をしました。

施設の処理能力が当初

計画では健祥会の汚水量は算定する際の人口を水明荘分しか見ておらず、ウエルとウエルアネックスについては計画後に建設がなされたため、当初接続予定の一般世帯からの流入が増加すれば当初の計画能力333立米をオーバーする恐れが予想されましたので、機能強化事業を平成15年度から実施し平成18年3月に増設施設の供用開始を行っておりました。

平成19年12月の定例会で料金体系を従量制にする条例改正の議決をいただき、本年4月分から徴収しておりますが、健祥会については年間550万円の増額となるため本年8月27日付で脱退届の提出があり、下水道課としては本年度に見込んでいた使用料金が大幅な減額となるなど多方面に影響を及ぼす可能性が十分に考えられますので、委員会にご報告するとともに今後の対策を検討していきたいと考えています。」

市民のページ

老人人生思い出と共に

鴨島町山路 木村 未樹夫

青年は理想に壮年は現実、老年は思い出に生きると言われる。私も、80余年の人生となりまさに思い出に生きる最中にある。

私が思い出を楽しむのは、のんびりと田畑や前山を眺めながら、夜眠りそこなったり夜半に目覚めてしばし眠れない時、親しい友だちと雑談に花を咲かせている時などである。

勤めた旧国鉄職員時代（14歳～55歳）、農民時代（55歳～今日まで）である。

少年時代は、地域の友達と野や山や小川で時の過ぎるのも忘れて遊び、よく農作業も手伝った。

思い出は何回繰り返しても、何時も新鮮で嬉しく楽しく、懐かしき、時には活力のわくを覚ゆる事さえもある。私の人生は、少年時代（14歳まで）、駅で

旧国鉄職員時代は、「安全・正確・迅速」の使命のもと、国の大動脈として戦中は、「鉄道は兵器である」とした激励され、戦闘帽を着用しゲートルを巻き、戦後は復興の原動力として昼夜の別なく、多くの人や物を運んだ。事なく定年退職後の農民時代は米を、他に柿やみかん、自家用として多種類の無農薬に近い野菜を作った。まさに、大好きな自然と共にの日々であった。

そこには、私なり80余年の人生があり、思い出の泉は深く広く、汲めど尽させぬ程のものがある。加えて私には、かけがえない宝物がある。

それは「昭和15年4月1日、試催を命ず、日給90銭を給す、南小松島駅駅手を命ず」から書き始めて今日まで、特別な日を除き書き続けてきた日記である。

ノート山積みその日記、まだ一度もじっくりと読み返したことがない、何時から読み返そうか、あの日あの時あの事どのように書いてあるかなど、わくわくするような思いの今日この頃ではあるが、じっくりと読み返すのはなおしばらく後の日のこととする。

おかげさまで今のところ元氣、今後なおしばらくはいろいろと積極的に言動し、多くの方々の出会いふれ合いを楽し

み、読書もし、時には旅に出る。そしてしばらくの後、若き日よりの古い日記をじっくりと読み返しながら、併せてアルバムをめぐると、そこには嬉しく楽しく懐かしい思い出の数々があり、私を至福の境地に誘ってくれるものと信ずる。

ともあれ、日記をじっくりと読み返して思い出にひたる。私の人生総仕上げとなる日はまだ後しばし、今後なお美しく豊かな自然と人情に恵まれた吉野川市民の一人として、誇りと自信、感謝の気持ち忘れることなく、少しでも人に喜んでもらえるような事が出来ればと心掛けながら、元氣に楽しく、私なりの老人人生を頑張り続けたいものと願っている。

八十路なほ心に期す
初日記



本会議・委員会の傍聴をしませんか



皆さんが選んだ議員の活動や行政が今、どのようなことを行っているかを知っていただくために、本会議などの議会の傍聴をしませんか。どなたでも傍聴できます。お気軽にお越しください。

TEL 22-2241

「愛の母子像」に「想」

鴨島町西麻植

荒井 修

最近のことだが、横浜「港の見える丘公園」に立ち寄り、フランス山地区に設置された「愛の母子像」に会った。碑文には、1977年アメリカ海軍機が厚木基地離陸直後エンジン火災を起こし、乗員2名はパラシュートで無事脱出したが、横浜市緑区の住宅地へ墜落、火災により男児2名の兄弟が死亡、母親も全身ヤケドを負い、4年後に死亡したという痛ましい事件の概要が刻まれている。

折しも昨年7月、3回にわたって、吉野川市上空で米軍機による超低空飛行が目撃され、市民を不安に陥れている。県内では海部郡などでも米軍機低空飛行が頻繁に起こっていると言われ、知事も「中止申し入れ」を表明したと報道されている。しかし、以前にも増して私たちの居住地上空は昼夜を問わず爆音が聞



かれ、定められた航路を飛行しているというより、旋回しているように感じること度々であり、生活に少なからぬ影響を与えていると思うのは私だけだろうか。瀬戸内海を挟んだ山口県岩国飛行場は国内唯一のアメリカ海兵隊の航空基地であり、575ヘクタール(甲子園145個

分)の広さに及ぶとのことである。厚木基地からの空母艦載機部隊の移転が問題となっているところであるが、四国への飛行訓練が益々頻繁になるのではと懸念され、惨事が現実のものとなる恐れが増大する。

国際民間航空機関規定の高度基準は守らせなければならぬのは勿論だが、日米地位協定を盾に治外法権、日本上空を我が物顔に横行するアメリカ軍に対し、主権国家が無力に等しいというのはうなづけない。

四国の美しい山河も米軍にとってはアフガニスタン辺りの原野を想定した演習場にしか映らないのではと危惧されてならない。

「愛の母子像」の遺族が「あふれる愛をこの子らに」と訴えたという願いを、私たちの住環境の中にも伝えていきたい。

クイズ?

本は1冊、
ごはんは一膳
……数え方を考
えてください。

- ① 刀
- ② ちょうちん
- ③ バイオリン
- ④ 白菜
- ⑤ 碁
- ⑥ 袴
- ⑦ 鏡
- ⑧ すだれ
- ⑨ きやべつ
- ⑩ 相撲

◎(前回の答え)

- ① かつぶく
 - ② くだびれ
 - ③ けさ
 - ④ たまたま
 - ⑤ おもむろ
 - ⑥ ひとしお
 - ⑦ おつくう
 - ⑧ かたじけな
- 応募総数は41通でした。
- ◎ 正解者の中から抽選で10名に記念品を進呈します。
 - ◎ 応募要領/はがき、またはファックスに答えと住所、氏名、年齢、電話番号を明記の上、議会事務局まで お送りください。
 - ◎ 送り先/〒776-8611 吉野川市鴨島町鴨島115-1
 - TEL 0883-22-2241 FAX 0883-22-2242
- ◎ 締め切り日/平成21年4月10日

市民の皆さんの声を掲載

市政についての苦言やアイデア、趣味や人生観など多岐に渡って文章を募集します。ファックスでも結構です。

：規定：

- 原稿用紙2枚以内(400字詰)
- 住所、氏名、年齢、職業、電話番号を明記(匿名の場合も)

● 締め切り

平成21年4月10日(消印有効)

* 投稿多数等で掲載できない場合は、ご容赦ください。校正等は、吉野川市議会広報特別委員会で行います。

：あて先：

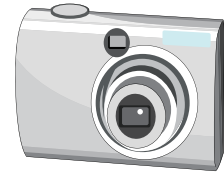
〒776-8611
吉野川市鴨島町鴨島115番地1
TEL 0883-22-2241
FAX 0883-22-2242

募 集 要 項

- テ ー マ** 吉野川市で撮影した季節の風景や祭り、行事など
- 規 定** モノクロ及びカラープリント2L判～四切・W四切組写真も可（3点まで）住所・氏名・電話番号・題名を明記。
- 締め切り** 平成21年4月10日（消印有効）
発行は5月です。季節感のあるものをお願いします。
- そ の 他** 作品の返却は行いません。採用された作品の使用及びトリミングなど加工については、吉野川市議会広報特別委員会に帰属することをご了承ください。
- 応 募 先** 〒776-8611 吉野川市鴨島町鴨島115番地1
TEL (0883) 22-2241
FAX (0883) 22-2242

募 集

表紙の写真



白梅や日光高きところより

草城

雪の舞う中、かわいい膨らみを付けている梅の木を見つけた。枯枝と違っていたらいつの間にかつぼみができていた。寒さにも負けず生命力の強い梅の木。派手さはないが時を知り、一番に春の夢を運んでくれるかわいい花。あと2か月もすると桜が咲き、花いっぱい季節となる。今、日本全国暖かくなるニュースが少なくない。しかし、悪い時ばかりではない。必ず住みよい生活のできる時がくる。いや、そうしていかねければならないと新たに決意する。

吉野川市も生れて5年目に入った。さあ、希望の持てる「まちづくり」に、市民全員が力を合わせ前進の一年にしよう。

中山郁子

